

BICCHU 備中エリア

椋木さん(川崎) 最優秀

地域「根」がさす医療表現

地域医療への関心を高めてもらおうと、倉敷市など県南部の24医療機関が連携して市民向け医療講座を企画する「わが街健康プロジェクト」。その活動をPRする本年度ポスターコンクールの入賞者7人が決まり、最優秀のグランプリに川崎医療福祉大医療福祉デザイン学科3年椋木太一さん(21)が輝いた。



椋木太一さん

「わが街健康プロジェクト。」ポスター

コンクールの画題は「医療機関と上手に付き合う」。デザイン系の学部、学科がある同大と県立大生から計81点の応募があり、表現の実に「根」を配し、線でつ

力、デザイン性を審査してグランプリ1点、優秀賞5点、サポーター賞1点を選んだ。椋木さんは「地域に「根」がさした医療」をイメージして大木を描き、枝先にプロジェクトのロゴ、病院や医師、お年寄りを描いた「木の実」を配し、線でつ



グランプリに選ばれた椋木さんの作品

ないで「医療で繋がるネットワーク」の標語を添えた。「医療システムが充実し、年齢を重ねても安心して暮らせるまちであり続けたい」と願いを込めた」と話す。

椋木さんと、優秀賞上位の県立大2年村上加奈子さん、同大2年西辻理央さんの作品は公式ポスターとして4月から1年間、プロジェクトに参画する医療機関などで活用する。プロジェクトは、倉敷中央病院(同市美和)などが2013年からスタート。ポスターコン

テストは15年度から開催し4回目。他の入賞者は次の皆さん。(敬称略)
【優秀賞】古川さくら(県立大)、金井宏樹(同)、押目美実(川崎医療福祉大)
【サポーター賞】堀内友貴乃(県立大)、(安部晃将)